

止めよう！辺野古埋立て2・21 全国同時アクション 東海ブロック集会

アピール

私たちは、本日ここにオール沖縄の不屈の闘いと連帯し「止めよう！辺野古埋立て2・21 全国同時アクション東海ブロック集会」を開催し、安倍政権の進める民主主義と立憲主義を破壊する暴挙を許さない決意を固めました。

昨年10月、沖縄県民8割の「辺野古新基地建設反対」の民意を背景に、翁長知事は、前知事の裏切りによる埋立て承認を取り消しました。これに対し安倍政権は知事の権限をはく奪する「代執行」を求める訴訟を起こしました。翁長知事は公判で沖縄県民の人権、自己決定権が奪われてきた歴史を踏まえ、今問われているのは「日本の民主主義と地方自治」であるとし、「沖縄に負担を強いる日米安保体制は正常と言えるのか、国民すべてに問いかけたい」と述べました。

安倍政権は「行政不服審査法」の趣旨に反し、民意を無視して法と民主主義に背いた政府が知事を訴えるなど言語道断と言えます。また、警視庁機動隊員を160名も派遣し、非暴力で闘う市民に暴行を加え、海上では海上保安庁が抗議船を沈没させるなどの弾圧を繰り返しています。政府は市民の人権を蹂躪し、その命を危険にさらす機動隊を即時撤退させ、工事を直ちに中止し、辺野古新基地建設を断念すべきです。

沖縄県民は、「絶対に屈しない、沖縄の未来は自らの尊厳と誇りにかけて自ら決め、自ら拓く」と闘いに立ち上がっています。

私たちにとって沖縄の新基地建設問題は決して他人事ではありません。安倍政権の進める「安保法制—戦争法」強行と「辺野古強行」は、米軍と一体となって世界で戦争をする国づくりのための表裏一体の問題だからです。

私たちは沖縄の民意と地方自治を蔑^{ないがし}ろにする政府を絶対に許しません。沖縄と全国の仲間と連帯して闘い抜きます。

以上、ここに決議します。

2016年2月21日

止めよう！辺野古埋立て2・21 全国同時アクション東海ブロック集会

参加者一同